

令和6年11月8日

豊田市議会議長 羽根田 利明 様

議会活性化推進特別委員長 鈴木 章



委員派遣実施報告書

本委員会は、下記のとおり委員派遣を実施しましたので、豊田市議会委員会条例第37条第1項の規定により、報告書を提出します。

記

- 1 派遣期間 令和6年10月15日（火）から同月17日（木）まで
- 2 派遣場所 15日（火）大分県大分市 若者と議会との意見交換
及び内容 16日（水）福岡県行橋市 議会における市民参画の取組
17日（木）広島県呉市 議会改革と開かれた議会
- 3 派遣委員 副委員長 海老澤要造
委員 岡田 耕一 木本 文也 中村 孝浩 杉本 寛文
榎屋小百合 奥村 峰生 石川 要一 都築 清之
武田 一夫
- 4 報告内容 視察報告書のとおり
- 5 随行者 西村 達哉 福岡 育大

視察報告書様式【1】

委員会名	議会活性化推進特別委員会	委員名	海老澤要造
視察日時	令和6年10月15日(火)午後3時00分～午後4時30分		
視察先・概要	大分県大分市 人口：473,158人(令和6.8.31現在) 面積：502.39km ²		
視察内容	若者と議会との意見交換について		
選定理由	大分市議会では、平成23年度から若者の政治参加意識を喚起することを目的に市内の高校、大学、専門学校の各1校以上と意見交換を実施しており、令和5年度には中学生との意見交換も実施した。また、若年層に特化した議会モニターを実施している。議会への市民参画の積極的な取組を視察することで、本市議会の更なる市民参画の充実に資するものとする。		
豊田市の現状と課題	前年度の議会活性化推進特別委員会で示された取組方針に基づき、継続的な議会力の向上及び開かれた議会を目指している。調査研究事項として、市民シンポジウム等の市民の議会活動への参画方法の再構築を掲げ、これまでの市民シンポジウム、市議会報告会兼意見交換会の見直し及び更なる充実に向け、取り組んでいる。また、豊田市議会基本条例の見直し等の参考となるよう議会独自の市民意識調査の見直し等にも取り組んでいる。		
視察概要	<p>大分市議会では、平成23年度から「若年層の政治参加意識を喚起する」目的で毎年市内の高校・大学・専門学校で「市民意見交換会」開催しており、平成5年度からは中学校まで範囲を広げ、これまでに中学校2校、高校22校、大学16校、専門学校13校の合計53校で開催されており、若年層への政治参画意識の喚起活動が13年間継続されている。</p> <p>学校での意見交換会の進め方としては、はじめに市議会の仕組みなどを全体で説明した後、10名程のグループ分けをして、フリートーク形式やテーマを「まちづくり」に設定するなど様々な形式で意見交換を実施している。</p>		
評価とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・早い時期から若年層にターゲットを絞り、継続的に議会、市政の理解活動を展開している。このことが将来、若年層が政治、議会、市政に理解をし、参画を促す意味では非常に有効な取り組みであると感じた。 ・若年層の政治参加意識を喚起し、市議会に対する関心を高めるとともに、意見等を広く聴取し議会活動等に反映させることにより、議会機能の充実および強化を図ることを目的に若年層に特化した議会モニターを実施していることは評価したい。 		
本市に反映できること	<p>議会における本会議や一般質問の評価を中学生にしてもらうなど、議会活動を積極的に市民に発信して、市民に開かれた議会への取り組みが進められている。</p> <p>本市においても参考にな取り組みが多くあるので、議会活性化推進特別委員化でしっかり協議していきたい。</p>		
その他 (意見・課題などあれば)	<p>今回の視察対応は、全て大分市議会の議員に行ってもらった、議員の強い思いを確認できた。また、議員提案による条例がここ10年あまりで5本もあり、議会の機能強化がされていることも確認できた。</p> <p>議会の中に議員政策研究会という組織が設置され、ここで議員提出議案、各種提言を取りまとめていた。多いに参考になった。</p>		



視察報告書様式【2】

委員会名	議会活性化推進特別委員会	委員名	海老澤要造
視察日時	令和6年10月16日(水) 午前10時～午前11時30分		
視察先・概要	福岡県行橋市 人口：72,333人(令和6.8.31現在) 面積：70.07km ²		
視察内容	議会における市民参画の取組について		
選定理由	<p>行橋市議会では、「わかりやすく開かれた議会」を目指し、議会報告会を開催している。議会での審議や活動状況を報告しながら、市民と地域で抱える問題などの意見交換会を実施している。</p> <p>こうした取組を視察することで、本市議会における市民への議会報告の充実に資するものとする。</p>		
豊田市の現状と課題	<p>前年度の議会活性化推進特別委員会で示された取組方針に基づき、継続的な議会力の向上及び開かれた議会を目指している。調査研究事項として、市民シンポジウム等の市民の議会活動への参画方法の再構築を掲げ、これまでの市民シンポジウム、市議会報告会兼意見交換会の見直し及び更なる充実に向け、取り組んでいる。また、豊田市議会基本条例の見直し等の参考となるよう議会独自の市民意識調査の見直し等にも取り組んでいる。</p>		
視察概要	<p>行橋市議会では、市民に向けた市議会報告会をこれまでに計3回実施している(平成27年度、平成28年度、令和5年度)。</p> <p>各常任委員会の委員長から委員会における審議内容や事業進捗等について報告を実施しており、令和5年度は特別委員会からの行政情報の取り扱いについて、追加報告を実施していた。</p>		
評価とその理由	<p>議会報告会は豊田市議会でも、平成23年から実施しているが、豊田市では議会活性化の取組報告がメインであり、各委員会の報告等はあまり実施していない。行橋市では委員会からの各種事業報告や特別委員会が設定する市民が興味をもつタイムリーな調査・研究内容等の報告を実施していたことは、市民が参加する機会の創出に寄与していると感じた。</p> <p>また、議会報告会への参加者増加に向け、開催する曜日や時間帯等をずらすなどの工夫をしていた。</p>		
本市に反映できること	<p>市政運営上、重要案件がある場合は、本市も市政報告会などで市民から意見を聞くような運営も行っても良いと感じた。</p>		
その他(意見・課題などあれば)	<p>視察の冒頭、行橋市が作成した市の紹介動画を拝見した。豊田市議会としても毎年、執行部が作成している豊田市の動画をさらに短縮版にして、視察に来ていただいた他市の方々に見ていただくことも必要だと考える。また、行橋市のように市側と議員側の対立点、争点があれば、市民の参加も増えると考えますが、あえて争点化する必要はないと考える。</p>		



視察報告書様式【3】

委員会名	議会活性化推進特別委員会	委員名	海老澤要造
視察日時	令和6年10月17日（木）午前10時00分～午前11時30分		
視察先・概要	広島県呉市 人口：202,673人(令和6.8.31現在) 面積：352.83km ²		
視察内容	議会改革と開かれた議会について		
選定理由	呉市議会では、積極的な議会改革と開かれた議会の取組として、学校に出向いての議会講座や中学生が実施に議場にて事業提案や採決等を実施するふれあい夢議会などを開催している。その他にも、議会だより充実の取組や議場コンサートの開催、議事堂案内等、市民に開かれた議会運営に取り組んでいる。こうした取組を視察することで、本市市議会においても、市民が様々な形で議会へ参画する新たな取組を創出する機会の充実に資するものとする。		
豊田市の現状と課題	前年度の議会活性化推進特別委員会で示された取組方針に基づき、継続的な議会力の向上及び開かれた議会を目指している。調査研究事項として、市民シンポジウム等の市民の議会活動への参画方法の再構築を掲げ、これまでの市民シンポジウム、市議会報告会兼意見交換会の見直し及び更なる充実に向け、取り組んでいる。また、豊田市議会基本条例の見直し等の参考となるよう議会独自の市民意識調査の見直し等にも取り組んでいる。		
視察概要	呉市議会基本条例は、平成22年6月25日に制定されており、公正、透明で市民に開かれた議会を実現するために議会改革に不断に取り組むことを定めている。 また、議会の果たすべき役割や議会活動のあるべき姿を定める4つの原則を遵守すべく、議会改革を行っている。 ≪4つの原則≫ ① 公平性、透明性及び信頼性を確保し、市民に開かれた議会を目指すこと。 ② 議決責任を深く認識し、市民に対し説明責任を果たすこと。 ③ 市民の多様な意見を的確に把握し、市政に反映させること。 ④ 市民に分かりやすい議会運営を行うこと。 ≪議会改革の進め方≫ ① 議会運営委員会の任期ごとに、委員間討議によって検討項目を洗い出し、その項目について協議している。 ② 議会基本条例に見直し手続を規定して改選ごとに条例の目的が達成されているか、議会運営委員会で検証する。		

<p>評価と その理由</p>	<p>《議会改革における課題と今後の展望》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 議会運営・機能維持への対策 オンライン委員会の開催や事業継続計画（BCP）の策定 ② 市民手続きの緩和への対策 請願・陳情をオンライン等でも行えるようにする ③ 一般質問の在り方 質問者を増やし、質問能力の向上を図り、議会の活性化を図る ④ 議員定数、議員報酬、出席費用弁償、行政視察旅費、政務活動費の見直し 次期改選（R9年5月）から議員定数を32人→30人に見直す（決定事項）ほか、上記項目について必要に応じて適宜見直しを図る ⑤ 会議における手話・字幕放映の対応 <p>《開かれた議会に向けた事業概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 会議の原則公開（委員会、議会協議会、政治倫理審査会の公開） ・インターネットによるライブ中継・録画放映（過去5年分） ・YouTubeによる録画字幕放映 ・傍聴、手話通訳・要約筆記通訳の対応 ② 本会議での報告関係 ・委員会視察報告、所管事務調査報告 ③ ホームページによる公開 ・会議録（公開会議の全て）、議決の議員賛否状況 ・視察報告書（委員会、個人行政視察政務活動の全て） ・議案、議案資料、行政報告資料 ・行政活動費の会計帳簿、領収書 ④ 議会報告（意見交換）会の開催 ⑤ 議会広報誌の発刊（年4回） ⑥ パブリックコメントの実施（条例制定時、議員定数変更時） ⑦ 教えて！呉市議会の開催 平成28年度から年1回小学校1校（6年生）対象に模擬議会開催（令和6年4月までに実績7回） ⑧ 議事堂探訪ツアー！の開催 平成28年度から議事堂等を開放し、施設見学を開催（令和6年4月までの実績：4回）」 ⑨ 議会図書室の開放 一般市民の入室資料の閲覧が可能（貸出不可）
<p>本市に反映 できること</p>	<p>本市議会では現在、常任委員会ごとに関連する団体と各1回、計4団体と議会報告会を行っているが、それだけでなく、市内の高校、大学、場合によっては中学校に出向き、意見交換の場を含めた議会報告を実施すべきと考える。</p>
<p>その他 （意見・課題などあれば）</p>	<p>議場が新しいこともあり、電子採決システム、大型モニター等の議場設備が整っていた。子連れ傍聴スペースも設置されていたが、入り口から一番遠くに設置され、利用実績はほとんどないとのことであった。</p>

